

書写 I

科目ナンバリング ESS-111
選択 2単位

山本 晃一

1. 授業の概要(ねらい)

毛筆による表現の楽しさに触れながら、「ひらがな」を「正しく整えて読みやすく、そして美しく」書くための知識について学びます。「書写」における毛筆の学習は、毛筆によって文字の本来の書き方を学び、文字を書くことの理解を深めることにあります。ですので、この授業は、毛筆で文字をうまく書くことではなく、この授業の学びを通して、日ごろ使う硬筆(ペン)でひらがなを「正しく整えて読みやすく、そして美しく」書くためのスキル習得を目指します。

2. 授業の到達目標

1 ひらがな・カタカナを「正しく整えて読みやすく、そして美しく」書くための知識やスキルを習得する。

2 教職課程履修者は「書写」の授業担当者としての基礎的・基本的な資質を身に付ける。

3. 成績評価の方法および基準

授業各回への取り組み方(50%)、授業を通しての文字の変容度・提出物の内容(50%)、をみて総合的に評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

授業で資料を配布します。

参考文献

全国大学書写書道教育学会編 『明解 書写教育』 (萱原書房)

書写の教科書

5. 準備学修の内容

各授業での学修内容を硬筆で復習することで、手書きのスキルは確実に向上します。日ごろのメモやノートへの記述時に、この授業での学びを意識するなど、硬筆(ペン)への応用を目指しましょう。

6. その他履修上の注意事項

実技の道具(書写のセット、鉛筆など)が必要です。詳しくは第1回の授業で説明します。実技だけで評価が決まるわけではありませんので履修に際して書道経験の有無は関係ありません。文字書くことに苦手意識のある人ほど学修の効果を実感することができます。経験者も未経験者も、毛筆による表現の楽しさに触れながら学びましょう。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス、用具用材について
- 【第2回】 「書写」の意義、ねらい(お習字と何が違うのか)
- 【第3回】 毛筆のあつかい方
- 【第4回】 美しいひらがなの姿I 向かい合う線の方向と字形
- 【第5回】 美しいひらがなの姿II 右回り、左回りの曲がり
- 【第6回】 美しいひらがなの姿III 大回りの線
- 【第7回】 美しいひらがなの姿IV 折れの線とひらがなの姿1
- 【第8回】 美しいひらがなの姿V 折れの線とひらがなの姿2
- 【第9回】 美しいひらがなの姿VI 結びの線とひらがなの姿
- 【第10回】 美しいひらがなの姿VII 結びの線とひらがなの姿2
- 【第11回】 ひらがなのまとめ
- 【第12回】 ひらがなの行書表現
- 【第13回】 美しいカタカナの姿I 直線的表現
- 【第14回】 美しいカタカナの姿II 曲線的表現
- 【第15回】 まとめ 課題提出